

生徒A

私は中学生になって初めてのうつしの祭でした。

私は歴史伝説班に入り、「更科の歴史」について皆で調査しました。調査をする中で、片岡先生に話を伺ったり、実際に更科の地域にある「道標」や「馬頭観音」などを見に行きました。そして長さを測ったり、写真を撮ったりし記録をしました。

調査したことを皆でまとめ、見に来てくださる方に分かりやすく発表出来るよう、劇にしました。

私はPP作りの担当をし、劇にあった画像を探したり、石碑の説明などを作りました。

PPを作る中で、重要な部分の文字を太くしたり、色をつけたりし見ている人に分かりやすく伝わるようにしました。

劇の練習では、「大きな声で話す」・「動作をつける」・「出入りを早くする」などの様々なことに気をつけながら練習をしました。はじめは恥ずかしさが勝ってしまい、動作をつけながら大きな声で話すことが出来ませんでした。でも、先輩方の姿を見習い練習を重ね、堂々と出来るようになりました。練習をする中で上手いかなかったり、悔しい思いをしたりそれぞれの思いがあったと思います。それでも、お互いにアドバイスをし合い励まし合いながら練習に励みました。

本番はたくさんの人の前で緊張している中、一人一人が練習の成果を発揮し全力で頑張っていたと思います。そして何よりも私は、歴史伝説班全員で劇に参加することができ、とても嬉しかったです。

最高の思い出になりました。うつしの祭で身についた力を、これからに活かされるようにしたいです。

## 生徒B

私は歴史・伝説班で活動してきて、更科に残るたくさんの歴史を自分の目で見て調べ、昔の人の思いを発信することができました。現地調査をすることで、実際に大きさを測ったり、掘られている文字をじっくり見ることができ、歴史あるものを感じ、探求することができました。今まで調査してきて一番驚いたことは、貝層を見に行ったときに自転車の下に一枚の貝殻を発見することができたことです。見つけたときは、ここに貝層があった事実がわかり、現地調査のやりがいを感じることができました。合計で何キロメートル歩いたかはわかりませんが、自分たちの足で現地まで行く過程がとても大切だと思いました。

今年度のテーマは「古代・近代・現代の歴史（なぞ）を解き明かせ！～受け継ごう古人の想いを～」でした。ここにある古人という言葉は、昔の人・いにしえの人・昔の優れた人という意味で、今まで更科に貢献してきた人や農民のために尽力した人の想いを知り、私達がうつしの祭を通して発信＝受け継ぐということが、私達に今できることだと思いました。更科中の歴史の調査では、校庭や校舎内の壁やものを隅々と見ていきました。何年のものなのかが一つ一つ見えてきて、昔は2階建てだったことや今ある備蓄倉庫はかつて職員が泊まっていたところだったことなど歴史をさかのぼらなければ分からなかったことを知ることができました。また、寄贈品が多かったことから更科中学校は地域の方から愛され、守られてきたことがわかりました。道祖神・道路元標・馬頭観音を見に行ったときは守り神がこんなにもたくさんあることに驚いたし、スマホがなかった時代は道標をもとに道筋を作りどの道か把握していたと知ることができました。千脇治郎右衛門では、人柄やその人の影響力を感じることができました。代官倉林親子の不正な検地方法や年貢米に対して、直訴し捕まってしまったが、自分が捕まってもいいから訴えたところに千脇治郎右衛門の思いを感じました。村のために尽力したことを今でも知ることができたのはその人の偉大な影響力があったからだと思います。また、もともと千脇治郎右衛門の自宅があったところを見せていただいたときは、何百年前はここで過ごしていたんだなど不思議な感覚でしたが、実際に見ることができたのは貴重な経験になりました。

テーマに掲げているように古代・近代・現代について探求することができ、古人の想いを受け継ぐことができました。こんなにも歴史に触れ学ぶことができたのは、更科が歴史の宝庫だからなので、更科中学校の生徒としてとても誇りに思います。深く長く続いてきた歴史に私達の活動も刻まれればよいなと思います。来年度では、今年度調査することのできなかった内容を調査してさらに更科の歴史・伝説を掘り起こして行ってほしいなと思います。今までの経験と知識はこれからも大切に、最大限生かしていきたいです。

生徒C

私は、歴史・伝説班に入り、たくさんの更科の歴史などを知ることができました。『歴史・伝説班』では、千脇治郎右衛門や更科中学校の石碑についてなどを調べました。

私は、更科について調べていく中で、知らない更科の歴史などをたくさん知ることができました。

私が頑張ったことは、歴史・伝説班で調査したことを『うつしの祭』で劇やPPを使って発信するということです。その中でも特に頑張ったことは劇です。劇では、セリフを覚えたり出入り、またフリなどやるが多かったのですが、先生方や先輩方のアドバイスをしっかりと聞き、アドバイスを実行することができたと思うし、セリフをしっかりと覚えて、フリを入れながらハキハキとした声で発表することを頑張りました。

現地調査では、今もまだ残っている門や、実際にお話を聞きに行くなどとても貴重な体験をすることができました。更科中学校にも忠魂碑などの石碑や卒業生などからの寄贈品もたくさんありました。

工夫したことは、舞台の上で話すときの声です。劇にして実際に体育館でやってみると思っていたより声が響かずに舞台の中にももってしまい、声が聞こえづらくなるということが練習をしていてわかりました。なので、先生方や先輩方のアドバイスを参考にして、舞台の方を向かずに前を向き、声を大きくだしそして、ハキハキとした声でできるように意識しました。そのおかげで、フリは、できるだけ大きく動くことができたと思います。声も、本番は前を向いて声を出し、ハキハキとした声で発表することができました。

本番は、先輩方と協力して先生方のアドバイスをもとに、発表することができたと思うので良かったです。そして、結果的にも楽しく、満足の行くような発表をすることができたと思います。

私は、この『歴史・伝説班』に入って今まで知らなかった、たくさんの歴史を知ることができました。なので、『歴史・伝説班』に入って知った更科の歴史を忘れずに、後輩たちにも更科の歴史についてこれからたくさん発信していきたいと思います。

## 生徒D

私はたくさん知らないことが自分の身の周りにあることにこのような活動を通して改めて気付くことができました。私達の代では今まで白蛇伝説、軽便鉄道、御成街道、貝層など身近なものから昔のもの、そして調べる機会がなければ知ることもなかったことまで調査することができました。わたしは貝層を初めて自分の目で見て迫力を感じたし、自分で貝を発見できたのもとても嬉しかったです。教科書でしか見たことがなかった土器も実際に触れることができ貴重な経験になりました。今までは学校外のものを調査するため現地調査に行き実際に自分たちの目で見て確かめて来ましたが今年度の調査では学校外の現地調査に加えて学校内の歴史を調査することもできました。自分たちの身近なものだからこそ当たり前になって興味を持ちにくくなってしまいますが私達はそこに興味を持つことができ調査しました。今年度の活動で良かった点は初めて知ることに興味を持ち一人ひとりが積極的にメモなどをとり様々な人に更科の歴史を発信しようと行動できていたことです。自分の役割に責任をもちお互いに支え合いながら活動することができました。そして、地域の方々のお話を実際にきいて資料等だけでは分からなかったことまで知ることができたのが良かったです。頑張ったことは歴史のつながりを考えることです。学校の歴史や窯跡、道祖神、千脇次郎右衛門について調べるにあたってそれぞれの歴史ができるまでにはどんなことがあったのかを調査して考えることができました。学校の歴史では、どの年に校舎はどうだったか、校舎が木造の時代があったり今の学校の造りと全然違っていたりそして、生徒数の減少などが今につながっていることがわかりました。また今までに聞いたことがなかった6334制についても知ることができました。義務教育は昔からずっと6年制だと思っていたけれど様々な人のお陰で今があることがわかりました。千脇次郎右衛門は、周りのひとのことを考えていたから直訴して捕まってしまったことを知って千脇次郎右衛門さんの人柄がわかったし、長屋門を見せていただいて当時のものを実際に目で見て確かめることができるのは当たり前ではないのでとても貴重な経験になりました。道祖神がどの場所にあるのかがとても大切で図などにメモをとることができました。道祖神は今まで身近にあっても石に字が書いてあるとしか思っていなかったけれど調査して旅の守り神だということを知ることができました。ppでは見ている人にもわかりやすいように言葉の説明や写真を入れたり、説明文を簡潔にまとめることができました。反省する点は現地調査をしている風景の写真が少なかったので、現地調査のときに周りで声を掛け合って増やしていきたいと思います。また、現地調査に行っていたところの写真がなくppに取り入れることができなかつた部分もあったので今後は現地調査など写真を取る場合は何を撮るのかをあらかじめ確認しておきたいです。

今まではうつしの祭を通して劇で更科の歴史や伝説を発信してきましたがこの方法以外にもたくさんの発信する方法があると思うので私達の代でできなかった新しい発信方法に取り組

んでこれからもたくさんの人に更科の魅力を伝えていってほしいです。そして、今まで学んできたことをこれからたくさん生かしていきたいです。

## 生徒E

私は、歴史・伝説班として活動してきて現地調査や地域の方の話を聞いて今まで知らなかったこの地域の歴史を沢山知ることが出来ました。現地調査では、千脇治郎右衛門や中原燾、道祖神などの年代や場所をみんなで調べる中で、この地域の歴史の知識を知ることが出来ました。そして、調べていくうちにもっと詳しく知りたいと思うようになりました。地域の方からの貴重な話を聞いて、とてもいい経験になり嬉しかったです。

劇では、見てもらう人に面白くわかりやすく伝わるように工夫しました。

私は、人前で発表することが苦手だったけれど総合的な学習の時間を通して堂々と発表できるようになり自分に自信を持つことができました。今回の劇では、出番が多く舞台裏での着替えが多かったけど練習通りスムーズに着替えをすることが出来てよかったと思いました。スライド作りでは、見ている人が飽きないように文字の量を少なくしたり、小学生でも読めるようにふりがなをふる工夫をしました。

今までの活動は、私にとって貴重な経験になり、大切な思い出になりました。

生徒F

私は、歴史伝説班として活動してきました。

最初は、本当に人前が出るのが苦手で本番でも練習の成果が出せなかったりと自分に対する反省がたくさんありました。ですが、その後悔や反省があったからこそ今年自分なりに学校だけではなく家で練習をしたり、劇では身振り手振りを増やしたりと私達が調べた歴史についてを地域の方々に発信することができました。

ここまでくることができたのは、私達の現地調査に毎回付き添ってくださった講師の方や先生方のおかげです。

現地調査では、更科中学校の歴史やその周辺のことについてを自分たちの目で確かめることができました。普段あたり前のように見ている景色でもその中に昔からの歴史が隠されていたり、誰も目につけないようなところに視点を当てることで新しい発見が生まれたり、自分の人生において必要でなくても、他の人がなかなか知ることのできないものを手にして発信することができて本当に良かったです。

また、全く知らなかったことを一から学び、私にとってとても興味深く面白い時間でした。私はカメラ担当として活動して皆の様子を見ながら現地調査をしてきました。

今思い返すと、その時間が楽しくて、皆が真剣に調査している姿がとても印象的で私の中で良い経験にもなり、良い思い出にもなりました。

もちろんその中には大変なこともありました。発表会当日に向けそれぞれが割り当てられた仕事をこなして、誰かが困っているときは誰かが助けて、どんなときも協力することを忘れずに支え合ってきました。歴史班にはこの協力性があったから練習から本番まで乗り越えられたのだと思います。

練習を重ねるごとにお互いが修正すべきところを見つけ出し、より良い劇にすることができました。本番までそれぞれにいろいろな思いがあったと思うけれど無事本番を迎え、終えることができて本当に良かったです。

生徒G

私は、昔から毎年このうつしの祭を見てきて、今回初めてステージ側に立ったのでとても緊張しました。元々人前に立つことが苦手で、人見知りをしてしまうことが多かったのですが、先生や先輩方が明るく支えてくださったおかげで、楽しんで歴史班の劇を行うことができました。それに、改めて仲間と協力する大切さを知ることができました。

歴史・伝説班の発表（劇）では、演劇を見たことはあっても自分が本格的に演じることは初めてだったので、とても新鮮で貴重な経験ができました。この発表を通して見た方々にも更科の歴史に興味を持ってもらえたと思います。

総合の時間で学校内や現地の調査をしたときは、とても楽しかったことを覚えています。知らないことも沢山あったし、歴史を知るたびに「更科は歴史が長く続いていてすごい！」と思いました。個人的に、片岡先生や地域の方の話を素早くかつ明確にメモすることを頑張りました。

調査が終わったあとの劇の練習では、最初は恥ずかしがって緊張してしまうことが多かったのですが、沢山練習して本番も楽しくできました。

他の班の発表も面白かったし、すごく勉強になりました。見ていると様々な工夫が伝わってきて、私ももっと頑張ろうと思いました。個人的に、毎年見てきて年々わかりやすく、そして面白くなってきていると思います。知らないことを沢山知れたのでよかったです。

今回のうつしの祭を通して私は、いろいろな面で成長できました。元々人前に立つことが苦手だったのですが、克服することができたと思います。これができるのは、暖かく支えてくださった先輩方、いつも見守ってくださった先生方のおかげです。私はこれからも、皆さんがくれた時間を大切に、学校行事に積極的に取り組んでいきたいです。

もし来年も私が歴史・伝説班にいたら、今年学んだことをいかして新一年生に伝え発信していきたいです。それに、来年は今年の改善点をクリアし、より良いものにできるように日頃尽力していきたいです。

## 生徒H

一年生の頃から歴史・伝説班で活動してきました。

初めて総合学習に取り組んだ時、更科の歴史について知ったときの感動を今でも僕は覚えています。更科にはこんなにも沢山の歴史があったんだ！白蛇伝説は、子どもたちが池に落ちないようにするための言い伝え、軽便鉄道は戦時中に走っていた電車、更科の至る所には、縄文土器や弥生土器などが沢山ある。これは、更科の良い所の一つであり、もっと探せばまだ自分が見つけられていない歴史があると思います。

今年は、自分たちが通っている更科中学校について調べてみました。調べていく中で初芝半儀さんという人がいたのを知りました。その人は、自分のお金で更科中学校を建設し、更科に大きく貢献した人でした。僕はそんな半儀さんに憧れました。学校を建てるのは難しい、でも地域のために何かちょっとした事でも、貢献できる人になりたいと思いました。色々ありましたが、三年間本当にありがとうございました。

## 生徒I

私は長い間歴史伝説班として活動し、このうつしの祭を通してたくさん成長することがありました。現地調査にて講師の先生による歴史の話、自分たちの足で行きたくさん散策し、観察、考察したことはこれまでにないものすごく大切な経験でした。私は今年自分の調べてみたかった学校が建てられた経緯、歴史についてみんなで話し合い、学ぶことができました。学校の敷地内にはたくさんの寄贈品があったり、石碑があったり、他には、学校が最初の形とは全く違って木造で先生たちが泊まる部屋があったことなど、今と昔がぜんぜん違うことに気付かされました。

学校外の現地調査では、大昔の土器が普通にでていたり、道祖神というものがずっと残っていたり毎回驚かされていました。

私は劇で地域の皆さんに発信していくために、どのようにしたら、わかりやすく楽しく理解していただけるかを元にシナリオを作り、パワーポイントではどのようにしたら見やすいか、難しい言葉は入れていないかなどたくさんの工夫をしました。音響などにも力を入れシーンに合ったものをたくさん追加しました。演者としては、私はセリフが多い方だったので、覚えることに必死で動きにすごい苦戦していました。声はハキハキと抑揚をつけて、動きは大きく、顔は笑顔で他にもたくさんのことに気遣いながらやっていたので今までにないくらいたくさん練習しました。ですが、私は演じることが好きな方だったのですごく楽しい思い出です。

私は総合という時間で表現する力、先を見ながら行動する力、物事を色々な視点で見る力が成長することができたと思います。



## 生徒J

歴史・伝説班で、自分たちが通っている更科中の歴史を調査によって学ぶことができました。自分たちが毎日何気なく歩いている廊下にも、増設された歴史があることを知りました。特に印象に残っているのは、昇降口の横にあるショーケースの中について調査したことです。更科中学校のホームページに載っていた「黄十字会」からの賞状が実際にショーケースの奥にしまっていました。50年以上前の更科を見たような気がしました。全校生徒が毎年減っている中で、少ない人数でも更科の歴史を発信していきたいです。来年はリーダーが言っていた、今まであまり触れられてこなかった「更科地域に残る伝統や遊び」について調査してみたいです。

## 生徒K

歴史班では更科中の歴史、千脇治郎右衛門、道祖神、中原窯跡・宇津志野窯跡の4つのテーマに沿って調べ、今まで知らなかったことを総合を通してたくさん知ることができました。去年しらべられなかったことを今年調べられてよかったです。副リーダーとして、回収をするなど仕事を全うすることができました。劇では、初めてナレーターを務め、原稿を考えるなどやることが多く心配でしたが、先生や先輩方が改善点などを教えてくださり、「ナレーターの仕事が楽しい」と思いました。来年は最高学年なので引っ張っていけるよう頑張りたいです。

## 生徒L

頑張ったことはみんなが見やすいように写真を取ったところです。光の反射で見えなかったり逆に暗くて見えづらかったけれど、工夫して頑張ってみえやすいようにしました。劇では去年は恥ずかしがって堂々とできなかったけれど、今年は先輩とたくさん練習して人前でも恥ずかしがらず、堂々と演技ができるようになりました。来年は3年生として歴史班を引っ張っていけるように、今年よりも歴史班に貢献できるようにしたいです。

生徒M

私は今まで、歴史・伝説班で活動してきて、自分たちが住んでいる地域について学ぶ大切さを実感しました。歴史・伝説班で活動する前は知らなかった軽便鉄道、白蛇伝説、階層、土器、御成街道について今まで調べ上げ、今年は千脇次郎右衛門、窯跡、更科中の歴史について調べました。千脇次郎右衛門ではいままで、自分の地域に住んでいると思っていなかった英雄がいることが、わかったり千脇次郎右衛門がこのさらしなにどのくらい貢献しているのかがわかり、一つの自慢になりました。窯跡では、みんなと自転車で少し遠いところに行き、教科書で写真でしか見たことなかった色々な土器を発見することができました。

約3000年前に使っていた土器を自分の目で見て触ることができるこのさらしなは歴史の宝庫だと感じることができました。更科中の歴史では、いま図書室に写真が飾られている初芝半儀さんについて調べました。いつも私達がお世話になっているこの更科中の昔の写真を見ることができたり、今まで不思議に思っていた端っこにある石碑の謎がしれて自分が更科中マスターになれた気分になりました。今までの現地調査で、私達が住んでいるこのさらしなに詳しくなることができ嬉しかったです。

劇の練習では、大道具準備とpp班に別れ、時間短縮ができるように意識しました。一人一人が自分の仕事を理解し、取り組むことができました。そして私が一番嬉しかったことは私は歴史班で活動し地域の皆さんに発信できたことです。地域の皆さんの中には自分の住んでいる場所の歴史について知る機会がなかった人もいるなかで、そのような機会が作れたのが嬉しかったです。

生徒N

私は今年、歴史班で活動しました。歴史班での活動では現地調査に行き、様々な手がかりを探しました。その中には、様々な種類の土器を発見したり、道祖神を見たりと、知らなかったことや、分からなかったことを正しく知ることができました。地域の方々に協力してもらい、仲間たちとともに発見、計測することは、とても良い経験になりました。特に、学校の中にある石碑と寄贈品という身近なもののことを調べられてよかったです。

パワーポイントでは、色々な演出をスライドに入れたり、教えていただいたグラフを使って人数の変わり方を表したりできたので良かったです。

発表練習では、セリフを速く覚えて声をできるだけ聞こえやすく、大きく出せるように頑張りました。他にも役を演じる上で、わかりやすい動きを入れられるように頑張りました。

私は歴史班に入って、今までなんとなくしか知らなかった地域のことを知れたり、そのことをみんなで発表することができたりして、様々な面で成長することができたと思うのでこの班に入ってよかったですと思います。